

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(いなべ総合学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		<p>総合学科の強みを活かすとともに、地域との連携・協力を更に発展させ、生徒一人ひとりの資質と能力を伸ばすことによって、自立し他者と協働できる人間を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合学科の強み → 探究活動、実験・実習などの体験的な教育活動 ・ 地域 → いなべ市だけでなく、企業や大学等の外部機関 ・ 生徒一人ひとり → 多様な生徒、それぞれの進路希望等に応じた <p>※ 社会の考え方や構造の変化を踏まえ、5年(2030年度)を目途に見直しを行う</p>
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己管理ができる ○ 学習や部活動等の教育活動に主体的に取り組む ○ 多様な価値観を理解し、適切にコミュニケーションをとり、他者と関係を築く ○ 地域社会に興味・関心を持ち、意欲的に社会に貢献する <p>※ 上記の姿を見据え、令和7年度は生徒が次の力を身に付けられるようにする 人の話を聞く力 文章を読み解く力 調べる力 情報を収集する力</p>
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目指す学校像、育みたい生徒の姿を理解し、それぞれの役割に応じた教育活動に取り組む ○ 育みたい生徒の姿に倣い、率先垂範して、自己管理、主体的な取組、チームワーク、社会貢献を意識して業務を推進する ○ 授業研究や生徒指導・進路指導・教育相談等の領域に関する自己研鑽に努める ○ 仕事と生活のバランスを意識して業務を推進する

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 進路実現に向け、充実した高校生活</p> <p>〈保護者〉 安全・安心な環境で、進路希望を実現できる学習環境</p> <p>〈地域〉 学校の専門知識や施設の提供による地域の活性化</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈家庭〉 学校の現状や課題の共有</p> <p>〈中学校〉 高校生活や進路状況等、情報の提供</p> <p>〈地域〉 地域の活性化のための若者の活躍</p>	<p>〈家庭〉 本校教育方針に対する理解と協力、共に生徒を育てるための信頼と連携</p> <p>〈中学校〉 効果的な指導のための生徒の情報共有</p> <p>〈地域〉 本校教育活動に対する理解、共に生徒を育てるための信頼と連携</p>

<p>(3)前年度の学校関係者評価など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大部分の生徒が進路実現を果たし、入学者選抜も高い倍率を維持している。この状況を維持するだけでなく、更に発展させられるよう総合学科としての魅力や特色に磨きをかけるとともに、教育活動の改善に努めてほしい。 ○ 多様な生徒が在籍していると聞いているが、式典での姿や授業中の様子から、集団として生徒は良い状況にあると感じる。挨拶や清掃、時間を守ること等によって良い雰囲気を維持・発展させていくことも大切であると思うので、この観点の取組も進めてほしい。 ○ 「目指す学校像」等を改定すること、今後はそれを実現するための具体的な取組が必要である。探究活動や体験的な学びを発展させるとともに、キャリア教育の一層の充実が必要である。 ○ 具体的な取組を進めるにあたって、マネジメントシートの「取組内容・指標」もアウトカムが図れるような指標を検討するべきである。 ○ 「すぐーる」を導入し、適切に情報発信してもらっている。文書等も添付できることから、よりわかりやすい情報発信に努めてほしい。また、悪い情報も共有してもらった方が不信感を生じさせないと思う。 				
<p>(4)現状と課題</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教育活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活背景や学力等の状況が違う多様な生徒が在籍している。ICTの有効活用、探究活動に関する研究など、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業づくりに引き続き取り組み、主体的・対話的で深い学びの実現を図る必要がある。 ○進路指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路希望が多様で、多岐にわたる。進路指導部と年次の連携が不可欠で、キャリア教育を充実するとともに、公務員対策、課外授業など個別対応も必要である。 ○生徒指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体の雰囲気としては落ち着いているが、SNSのトラブル、いじめはなくなっていない。また、生徒、保護者をはじめとした社会の考え方が大きく変化している。生徒会等と連携し、生徒が主体的に規範意識や命の大切さ等を考える機会が必要である。 ○保健管理について <ul style="list-style-type: none"> ・ 体調不良による欠席、保健室利用が一定数発生している。自他の心身の健康に関する知識や関心を高める健康教育、また、環境教育を充実するとともに、相談できる体制づくりが必要である。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">学校運営等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○開かれた学校づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 新装したホームページや説明会等の機会を活用し、積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を継続する必要がある。 ○学校経営改革について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校信頼向上委員会での学校の課題の検討、行動計画の策定に基づいた取組を実践している。引き続き、風通しの良い職場環境づくりに努め、課題や情報の共有、課題解決に向けた校内研修の実施等により、教職員一人ひとりの資質能力の向上を図る必要がある。 ・ 総勤務時間の縮減のため会議時間の縮減等、具体的な取組が必要である。 </td> </tr> </table>	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活背景や学力等の状況が違う多様な生徒が在籍している。ICTの有効活用、探究活動に関する研究など、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業づくりに引き続き取り組み、主体的・対話的で深い学びの実現を図る必要がある。 ○進路指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路希望が多様で、多岐にわたる。進路指導部と年次の連携が不可欠で、キャリア教育を充実するとともに、公務員対策、課外授業など個別対応も必要である。 ○生徒指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体の雰囲気としては落ち着いているが、SNSのトラブル、いじめはなくなっていない。また、生徒、保護者をはじめとした社会の考え方が大きく変化している。生徒会等と連携し、生徒が主体的に規範意識や命の大切さ等を考える機会が必要である。 ○保健管理について <ul style="list-style-type: none"> ・ 体調不良による欠席、保健室利用が一定数発生している。自他の心身の健康に関する知識や関心を高める健康教育、また、環境教育を充実するとともに、相談できる体制づくりが必要である。 	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○開かれた学校づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 新装したホームページや説明会等の機会を活用し、積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を継続する必要がある。 ○学校経営改革について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校信頼向上委員会での学校の課題の検討、行動計画の策定に基づいた取組を実践している。引き続き、風通しの良い職場環境づくりに努め、課題や情報の共有、課題解決に向けた校内研修の実施等により、教職員一人ひとりの資質能力の向上を図る必要がある。 ・ 総勤務時間の縮減のため会議時間の縮減等、具体的な取組が必要である。
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活背景や学力等の状況が違う多様な生徒が在籍している。ICTの有効活用、探究活動に関する研究など、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業づくりに引き続き取り組み、主体的・対話的で深い学びの実現を図る必要がある。 ○進路指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路希望が多様で、多岐にわたる。進路指導部と年次の連携が不可欠で、キャリア教育を充実するとともに、公務員対策、課外授業など個別対応も必要である。 ○生徒指導について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体の雰囲気としては落ち着いているが、SNSのトラブル、いじめはなくなっていない。また、生徒、保護者をはじめとした社会の考え方が大きく変化している。生徒会等と連携し、生徒が主体的に規範意識や命の大切さ等を考える機会が必要である。 ○保健管理について <ul style="list-style-type: none"> ・ 体調不良による欠席、保健室利用が一定数発生している。自他の心身の健康に関する知識や関心を高める健康教育、また、環境教育を充実するとともに、相談できる体制づくりが必要である。 				
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○開かれた学校づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 新装したホームページや説明会等の機会を活用し、積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を継続する必要がある。 ○学校経営改革について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校信頼向上委員会での学校の課題の検討、行動計画の策定に基づいた取組を実践している。引き続き、風通しの良い職場環境づくりに努め、課題や情報の共有、課題解決に向けた校内研修の実施等により、教職員一人ひとりの資質能力の向上を図る必要がある。 ・ 総勤務時間の縮減のため会議時間の縮減等、具体的な取組が必要である。 				

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<p><カリキュラム・ポリシー></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 教科・科目を系列に分類し、それぞれの系列に対応した選択科目を編成し、講義・実験・実習等を組み合わせた調和のとれた学習活動を実践する。 ○ 総合学科高校必修科目である「産業社会と人間」を設置し、1年次からキャリア教育を推進する。 ○ キャリア教育の結果、生徒が自らの興味関心、進路希望を定め、それらを実現するための系列及びそこに開設された選択科目を主体的に選択し、学習を行えるようにする。 ○ IVYタイム(総合的な探究の時間)における探究活動を通して、生徒が生涯にわたり学び続ける態度を身に付けられるようにする。
-------------------------------	--

	<p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習意欲の向上や学習習慣の確立に向け、生徒の興味関心を引き出す魅力ある授業づくりに積極的に取り組む。 ・ 生徒が進路希望を実現できるよう、キャリア教育の充実と課外授業等の個別対応等の取組を行う。 ・ 成年年齢18歳を見据え、成人として必要な知識・技能を生徒が身に付けられるよう取り組むとともに、基本的な生活習慣や規範・美化意識の確立など社会性の育成に向け、生徒会を中心に保護者や地域と連携し、生徒自身が自発的に意識を高めていく雰囲気づくりに取り組んでいく。 ・ 命を大切に、生き抜く力の育成に向け、人権教育や危機管理教育等、意識の向上に繋がる取組を積極的に行う。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の最新情報等をホームページなど様々な角度から情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を積極的に行う。 ・ 学校が信頼されるよう、学校信頼向上委員会の活性化、行動計画の更新に基づいた取組を充実させる。また、風通しの良い職場環境づくりに努め、課題や問題の共有、その課題解決に向けた校内研修の充実などに積極的に取り組む。 ・ 総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的な取組を行う。

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣が身に付いており、本校で実施するカリキュラム・学習内容・部活動等教育活動全般に対して強い興味・関心を持つ生徒で、かつ入学後、意欲的に学校生活を送る意志のある生徒 <p><次のいずれかに該当する生徒></p> <p>「学習について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語・社会・数学・理科・英語・芸術・体育等の各教科に関わって、優れた資質を持ち、得意分野の中から入学後も学習活動に意欲的である生徒 ○ 全ての教科に対して真面目に学習活動に取り組める生徒 <p>「部活動等について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ・文化活動等で優れた実績や能力があり、入学後もその活動を継続して行う意思のある生徒 ○ 個々の部活動において、意欲的に活動する意思のある生徒 <p>「学校生活について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動・学級活動で実績のある生徒 ○ ボランティア活動・人権活動に積極的に取り組める生徒 <p>「進路について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来、地域社会に根差し、地域の一員として社会貢献をする意欲のある生徒 ○ 自分の夢の実現に向け、向上心を持って専門性を高めようと努力する生徒 ○ 四年制大学に進学を希望し、意欲的に学習に取り組める生徒
--	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

	取組内容・指標	結果	備考
教育課程・ 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人ひとりの確かな学力の伸長、また、家庭学習の強化等について教職員間の情報共有を図り、生徒の進路希望実現に向けて授業の創意工夫、改善に努めます。 ・ 「産業社会と人間」や「IVY タイム」におけるキャリア教育、また、定期的な個人面談を通して、進路希望にあった選択科目の決定を図ります。 ・ 校内ネットワークの管理に努め、統一校務システム(賢者)の運用管理に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の日々の課題を見直し、生徒個々が学習習慣を身に付けられるように課題や宿題、調べ学習などの取組を行いました。またICTを活用した授業作りを各教科が工夫して実践に取り組みました。 ・ 生徒の希望を尊重しつつ、教員の配置も勘案したうえで科目登録を行いました。改善に向けた検討は継続して行っていく必要があります。 ・ クラウドへのデータ移行が完了しましたが、大きな問題もなく使用できています。また、一部の業務は学校外でも操作できる環境が整備できました。しかし、職員のセキュリティ意識を高めるといった課題があり、今後その対応が必要です。 	◎
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路ガイダンスや保護者説明会、三者懇談を通して、生徒・保護者との相互理解を図り、生徒の進路実現に向けた協力体制を構築します。 ・ 各年次と分掌との連携を強め、生徒に必要な情報を共有し、計画的な進路指導を行います。 ・ 「産業社会と人間」や「IVY タイム」などキャリア教育を充実させ、生徒の進路意識を高めるとともに、地域と連携した学習を通して、社会貢献できる人材育成に取り組めます。 ・ 進学に関しては、いなべ特進塾や夏季課外の充実により一般選抜に対応できる高い学力の養成を図るとも 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次では科目選択に関して、2、3年次では進路希望に関して保護者会や進路相談会を計画通り実施しました。 ・ 年次と生徒情報を密に共有し、進路指導を行いました。 ・ キャリア教育については、計画通りに進めることができました。非認知能力を測るテストや地元企業交流会、学校見学会などを実施しました。年度末にはいなべ市役所からアドバイスをいただき、いなべ市の課題について探究学習を行いました。 ・ 総合型選抜や学校推薦で進学しようという生徒に 	◎

<p>生徒指導部</p>	<p>に、総合型選抜、学校推薦型選抜にも対応できるように面接指導・小論文指導などを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職に関しては、計画的・継続的な問題演習により基礎学力の向上を図り、面接指導を充実させることで、就職内定100%を目指します。また公務員志望者には早期から対策問題演習に取り組みさせることで学力と意識を高め、進路実現に繋がります。 ・ 生徒が基本的な生活習慣を確立できるように指導し、有意義で興味深く、充実した学校生活とすることができるよう支援します。 ・ 学校や社会の規則の必要性や大切さを伝え、生徒が規範意識やマナーを向上できるように指導します。 ・ 安全教育の徹底、特にヘルメットの着用を積極的に勧めます。 ・ いじめの早期発見・早期解決を目指すとともに、いじめを許さない雰囲気醸成します。 	<p>は個々の状況に合わせた細かい指導を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次をはじめ年次・分掌と協議し、就職希望者全員が内定を得ました。公務員も早期からの演習により進路実現につなげることができました。 ・ 充実した安全で安心な学校生活を送れるためにロッカーや自転車の鍵の点検を行いました。 ・ 社会規範と照らし合わせ、防寒着着用の規定を改定しました。 ・ 地域の安全協会や警察と連携して交通安全指導を行いました。ヘルメットの着用率は今後とも積極的に勧めていきます。 ・ 年2回のいじめアンケートを実施し、早期発見、早期解決に努めました。また、ピンクシャツ運動を通じていじめを許さない雰囲気醸成しました。 	<p>◎</p>
<p>保健管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健環境委員会活動を通じて、環境美化の活性化を図り、また、心身の健康に関する知識・関心を高めます。 ・ 日常の積極的な清掃活動の推進を図ります。集会等の機会を通じて校内美化の重要性を全校生徒へ発信するとともに、年次と協力して、ゴミの分別への啓発活動を行うなど、生徒が分別や清掃を習慣化できるよう指導します。 ・ 校内の美化や教室の整理整頓など、学習環境の整備を図ることで、生徒の学習意欲の向上につなげます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各クラスの保健環境委員が、体育祭での準備やけが人の記録補助等を行うことができました。 ・ ごみの分別については、可燃ごみとペットボトル、缶の分別がきちんとできるようになりました。 ・ 教室内では机の中にごみが残されていたり、飲みかけのペットボトルが置きっぱなしになっていたりする課題があり、自分たちの学習環境は自分たちで整えることが大切であることについて気づくことができ 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒がいつでも安心して来室でき、心身共に休まる保健室を目指します。 ・ 保健室来室時には、自身の健康への関心が高められるよう個別に指導するとともに、定期的に保健通信を発行し、心身の健康を守るための知識を発信します。 ・ 保健環境部が中心となり、各年次、生徒指導部、外部機関等と連携を図りながら、心に悩みのある生徒を支援します。 ・ 自主自立…基礎学力・自己管理(時間・時期・体調) ・ 前期:仲間づくり→「部活動入ろうキャンペーン」 後期:学力向上 →「期日厳守」(やり切る力) ・ 知識の習得だけでなく、心身の健康とともに人としての成長を促し、自ら学び続ける力を養います。 【活動指標】 ① 自己管理の徹底と学習活動の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の提出期限を守り、主体的に授業に参加する態度を養う。 ・ 月に2回程度、ロッカー施錠点検を実施する。 ② 挨拶とマナーやモラルの奨励 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な挨拶や敬語の意識づけ、授業開始・終了時の挨拶の奨励。 ・ 制服の着こなし。 	<p>るような取組を行う必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の心身の状況に応じて保健室だけでなくカウンセリング室で休養をとれるようにしました。 ・ 来室した生徒とコミュニケーションを取る中で、体調不良等の要因に自ら気づくよう促しました。また、計画通り保健通信を発行し、生徒が体調管理に関する知識を得られるよう努めました。 ・ 常に養護教諭と教育相談育担当者が情報共有を行うとともに、年次や分掌、部活動顧問と連携を取り、必要に応じてケース会議を開いたり、スクールカウンセラーなどにつなげたりするなど、状況を改善するための取組を進めました。 ・ 日頃の声かけ、定期的な年次集会等での講話によって、少しずつではありますがきちんと取り組む生徒が増えてきています。後期に入っても急激な悪化は見られていません。 ・ 部活動加入率 92% ・ 放課後指導等により年次として組織的に取組を進めることができました。 ・ ロッカー施錠率は全体として95%以上という成果指標には達しませんでした。アンケート結果に関わらず、未施錠の状況が一定数見られたことは課題です。しかし、定期的な点検を継続する中で、未施錠が 	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
1年次			
2年次			

<p>3年次</p>	<p>【成果指標】</p> <p>① ・生徒のロッカーの施錠率95%以上。 ・定期考査後に授業についての取り組みや課題提出について、生徒がふりかえるアンケートを実施し「課題提出率」や「授業遅刻率」の減少につなげる。</p> <p>② ・定期考査後に生徒が学校生活をふりかえるアンケートを実施し「自ら挨拶ができる」、「清潔感のある着こなしができる」ことへの意識向上につなげる。 ・教員のきめ細かな観察による生徒の行動や意識の変化を定性的に評価し生徒へフィードバックをする。</p> <p>・ 生徒の進路不安に寄り添い、こまめな声かけ・面談を通して個別支援を行います。</p> <p>・ 進路指導部や他部署と密に連携し、重要情報を確実に共有・伝達します。</p> <p>・ 学年全体で進学・就職の垣根を越えて協働し、多様な進路ニーズに対応する体制を整えます。</p> <p>・ 無断欠席・無断遅刻・怠け学、身だしなみ、アルバイト指導など生活面の基礎を整えることで、進路実現に向けた態度を育てます。</p>	<p>特定生徒に集中していることが明らかとなったので、今後は全体指導に加え、個別の声掛けや指導を通して行動の定着を図る必要があります。</p> <p>・ 挨拶やマナー、モラルについては日常の学校生活において良好な状態がみられ、学年集会等での具体的な行動を取り上げたフィードバックを継続していきたいと考えています。一方で、落とし物や置き忘れが多い状況があり、自己管理意識の向上が今後の課題です。</p> <p>・ 多様な進路に対しても年次で連携を取り合い、個に応じた進路指導をすることができました。</p> <p>・ 進路指導部はもちろん、他の分掌と連携し、協働して業務分担を行うことができました。</p> <p>・ 一定の協働は行えましたが、進路指導においてはどうしても季節労働となった現状がありました。</p> <p>・ 達成度に二極化が見られました。この目標については学校での指導のみならず家庭との連携が必須であり、課題が残りました。</p>	<p>◎</p>
<p>改善課題</p>			
<p>・ 総合学科として多様な講座を開設すると同時に、教育活動全体に「探究」の視点を取り入れ、生徒が主体的に学びに向かう力を育成する必要があります。そのためにも、今年度始めた授業改善に向けた取組を継続的に実施していく必要があります。</p> <p>・ 2032年度から年次進行で実施される予定の新しい学習指導要領を見据えるとともに、急激な少子化の影響も考えたうえで、いなべ総合学園高校として何を大切にするか、重点的に取り組むべきことは何かを考え、生徒への指導、教育課程、系列・系統、科目登録等の教育活動全般のあり方を見直していくための具体的な仕組みを整える必要があります。</p> <p>・ よく言えば同調圧力が発生しにくい関係性、悪く言えば希薄な人間関係というようないなべ総合学園高校の特徴を踏まえ、生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、いじめの早期発見・早期対応、相談できる体制づくり、人権に配慮した取組等のあり方を考える必要があります。</p>			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
保護者・地域 住民等との連 携・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域に向けて、ホームページや広報冊子などで積極的な情報発信に努めます。 学校説明会(10月11日)の内容を充実させ、中学生及び保護者に向けて、本校の魅力発信に努めます。 すぐーる、Google Classroom などを利用して、生徒及び保護者に学校行事予定の定期的な発信や緊急連絡の発信に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事、部活動の様子等、HP やPTA用広報誌で発信しました。特に、HPをリニューアルし、月1回以上の定期的な更新を行い、行事や部活動のニュースを随時掲載しています。 10/11(土)の学校説明会には中学生 540 人、保護者 350 人の申込がありました。美術科による授業の実施等、中学生が体験する要素を取り入れました。また、当日参加できなかった中学生等を対象に、11 月にも簡易な説明会を実施しました(中学生 50 人、保護者 38 人)。 学校案内(6月発行)、IVY 通信(10月発行)、PTA新聞(7・2 月発行)等を計画通り発行するとともに、台風、津波、大雪等の緊急時の対応・注意喚起のほか、各種相談窓口の案内、教育委員会や警察からの啓発資料等の発信も行いました。 	◎
働きやすい職 場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が健康を保持し、私生活を充実させるため、定時退校日の設定や会議時間の縮減等に取り組み、総勤務時間の縮減を図ります。 <p>【活動指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定時退校週間に1日以上定時退校できた教職員の割合:95%以上(昨年度 85.5%) 部活動休養日を週1日設定し、計画通り運用できた部活動の割合:100%(昨年度 99.4%) 放課後に開催し60分以内に終了した会議の割合:80%以上(昨年度 73.9%) <p>【成果指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1人当たりの月平均時間外労働:30 時間以下(昨年度 24.3 時間) 年 360 時間を超える 	<ul style="list-style-type: none"> 85. 5%(12月末現在) 95. 6%(12月末現在) 59. 4%(12月末現在) 24. 6時間(2月末現在) 23人(2月末現在) 	◎

<p>資質向上の取組及びチームワークの向上</p>	<p>時間外労働者数:0人(昨年度 24 人)</p> <p>③ 月 45 時間を超える 時間外労働者の延べ人数:0人(昨年度 33 人)</p> <p>④ 1人当たりの年間 休暇取得日数:25 日(昨年度 26.2 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な学習環境のための適切な施設整備、一般的な消耗品の在庫管理を行います。 <p>【活動指標①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各倉庫の消耗品の在庫チェックを年1回以上行う。 <p>【成果指標①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的な消耗品の在庫切れなし <p>【活動指標②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の施設環境整備のチェックを年1回以上行う。(費用の発生する工事、修繕等を除く) <p>【成果指標②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内施設環境整備実績1回以上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不祥事根絶を目指すとともに、教職員が一層の信頼を得られるように努めます。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態に沿った教育課題等について教職員間で共有し、その課題解決及び一人ひとりの資質向上を図ります。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現職教育(校内研修)を年2回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場とすることで、教職員が同僚性を育み一体感を醸成できるように取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な危機に対応できる体制の強化に努め、安全・安心な学校づくりに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 33人(2月末現在) ・ 21. 3日(2月末現在) ・ 予定通り実施しました。 ・ 計画とおりに行いました。 ・ 予定通り実施しました。 ・ ①製図室エアコン設置 ②パブリックストリート根切り工事实施 ③パン自動販売機新設 ・ 学校としては、盗撮防止(12 月)、事務部としては、適切な個人情報の管理、事務処理について3回の計4回実施しました。 ・ 部落問題(6 月)、探究学習(7 月)に関する校内研修を実施しました。 ・ 学校信頼向上委員会では、授業研究を実施し、授業を切り口とした同僚性の構築の大切さを確認しました。また、都度、ケース会議を開催し、関係職員で生徒の情報共有をはかるとともに、対応について協議しました。 ・ 年次会、部会の定期的な実施とともに、随時分掌内で情報共有し、状況によ 	<p>◎</p>
---------------------------	---	--	----------

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状にあっていない内規の改訂、分掌内での引継ぎ資料の作成を適切に行います。 	<p>り管理職へ相談・報告することで、教職員間の連携・連帯を強めることができました。また、製図室のエアコン、特別教室棟トイレ付近の雨漏り、パブリックストリートの根切りなど、生徒の安全を第一に考え、予算要望を行うとともに、PTA と相談し対策を行いました。さらに、パン販売等(水曜日以外の対面販売の実施、自動販売機の新設)を充実させることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 履修に関する規定、防寒着に関する規定、シラバスの改善、系列表の見直し等を行いました。 	
改善課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページをリニューアルし随時更新を行っています。また、広報冊子等の発行も例年通り行うなど、情報発信していますが、今後は、ICT 機器や SNS 等の活用など、効率的で、より効果的な進め方について検討する必要があります。 ・ 総勤務時間の縮減や年休取得促進は、一人ひとりの教職員の健康を保持し、私生活を充実するとともに、自己研鑽を行い、効果的な教育活動を行うための取組であることを、繰り返し、学校全体で確認し続ける必要があります。 ・ 多様な価値観を認め合うために、社会構造や人々の認識を大きく変化させる必要に迫られています。そのような状況に対応するため、学校全体として、また、一人の教職員として、資質を向上させる必要があることを認識し、研修受講を促進していく必要があります。 			

6 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の急激な少子化、私学無償化、普通科における探究活動の充実等を見据えると、今後の学校のあり方としては、やはり、「目指す学校像」にある探究活動、体験活動等の総合学科としての魅力や特色に磨きをかけ、教育活動を充実させていくことが必要ではないか。 ○ 式典や授業中の様子を見ると、集団として悪い雰囲気は感じない。多様な生活背景や考え方を持つ生徒、保護者が増えているようであるが、挨拶や清掃、時間を守るといった基本を大切に、現状を維持・発展させていくことも大切ではないか。 ○ 具体的な取組を進めるにあたって、アウトカムが図れるような指標を検討するべきである。 ○ 台風や大雪の際、適切に情報発信してもらっている。文書等を添付するなど、わかりやすい情報発信をしてほしい。悪い情報も共有した方がよいのではないか。
----------------------------	---

7 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目指す学校像」等を実現するため、探究活動、体験的な学び、地域との連携等の充実に取り組みます。 ○ 2032年度から年次進行で実施される予定の新しい学習指導要領を見据え、指導のあり方、教育課程、系列・系統、科目登録等の見直しについて、検討を始めます。 ○ 授業を改善のため、校内における授業研究、中学校との連携を進めます。 ○ 自他を尊重する人権教育を基盤とした対話に基づいた教育活動、いじめや問題行動への迅速な対応により、誰もが安全で安心して暮らせる学校づくりを進めます。
---------------------	--

学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">○ 管理職と教職員の対話を大切にし、誰もが安心して自分の意見を述べることができる、風通しの良い職場づくりに継続して取り組みます。○ 総合学科の良さである個々の教職員が工夫して取り組めばよいことと、やはり学校として統一して取り組んだ方がよいことのバランスを上手く取りながら学校運営を行っていきます。○ 教育活動の充実と働き方改革の両立を目指し、教職員が「やらされ感」を抱かないような職場づくりに努めます。
--------------	---